

第44回 MGK西日本学術大会 プログラム

2019年7月24日(水) 於:キャンパスプラザ京都

【講演-1】 13:30~15:00

「放射光の横断利用によってとらえられたエイジング毛髪」

株式会社ミルボン 開発本部 基礎研究グループ

統括マネージャー 伊藤 廉 氏

【要旨】

高齢化が進む社会変化に対応するため、各化粧品メーカーでは高齢化、いわゆるエイジングをターゲットとした様々な基礎科学的アプローチが進められている。しかし、皮膚における研究に対して毛髪のエイジングに関する報告事例は決して多いとは言えない。更に現代においては様々な情報が溢れ、研究に対する消費者の目は厳しくなり、正確でより一層分かりやすい情報のアウトプットが求められている。このような現状の中、我々は大型放射光施設 SPring-8 の高輝度で様々なエネルギーの光を用いることで、毛髪研究における新たな領域を広げる可能性があるのではないかと考え、様々な測定手法を用いて毛髪を多角的に分析してきた。当日は、弊社でおこなってきた放射光を用いたエイジング毛髪の研究の一部をご紹介します。

【講師略歴】

2008年 関西学院大学大学院 理工学研究科 博士課程後期課程修了 博士(理学)
同年 関西学院大学 理工学部 博士研究員
2009年 公益財団法人 高輝度光科学研究センター(SPring-8) 博士研究員
2011年 株式会社ミルボン 入社
2012年 公益財団法人 高輝度光科学研究センター(SPring-8) 外来研究員
2016年 椋山女学園大学 大学院生活科学研究科 非常勤講師
2019年 関西大学 環境都市工学部 非常勤講師
2019年 独立行政法人 理化学研究所 客員研究員

【講演-2】 15:15~16:45

「皮膚感覚の分子メカニズムとその応用」

株式会社マンダム 基盤研究所 ライフサイエンス研究室 グループリーダー 兼

大阪大学大学院薬学研究所 招へい准教授 藤田 郁尚 氏

【要旨】

20世紀の終わりまで、私たちは、皮膚において温度や化粧品による刺激感覚が同じ分子によって感知されているとは想像もしていなかった。1997年、TRPV1というイオンチャンネルが、熱だけでなくカプサイシンに反応することが発見され、皮膚感覚の理解が一変した。株式会社マンダムでは、2003年に発見されたTRPA1が、様々な成分による刺激感覚と関係していることを明らかにしてきた。今回、ヘアカラーを中心にTRPチャンネルの研究の化粧品への応用例を紹介する。

【講師略歴】

1998年 大阪大学大学院理学研究科生物科学専攻 博士前期課程 修了
同年 株式会社マンダム 入社
2005年 自然科学研究機構生理学研究所・岡崎統合バイオサイエンスセンター(現生命創成探究センター) 細胞生理部門 共同研究員
2011年 総合研究大学院大学生命科学研究科生理科学専攻 論文博士(理学)
2013年 医薬基盤・健康・栄養研究所 客員研究員
2015年 大阪大学大学院薬学研究科 招へい准教授